

練馬区幼保小連携に関する実態調査（概要版）

調査の概要

【名称】  
令和4年度練馬区幼保小連携に関する実態調査

【目的】  
練馬区における幼保小連携の取組の実績、関係者の意識などについて、現状を把握し、「練馬区における幼保小連携の推進について」等改定の検討資料等として利用する。

【対象】

	施設数	回答者	備考
私立幼稚園	38園	園長または副園長	分園は除く
私立保育所	131園		
認証保育所	17園		
区立幼稚園	3園		
区立保育所	60園		民間委託園を含む
区立小学校	65校	校長または副校長	

【方法】  
アンケート方式（Web調査）

【期間】  
令和4年9月～10月

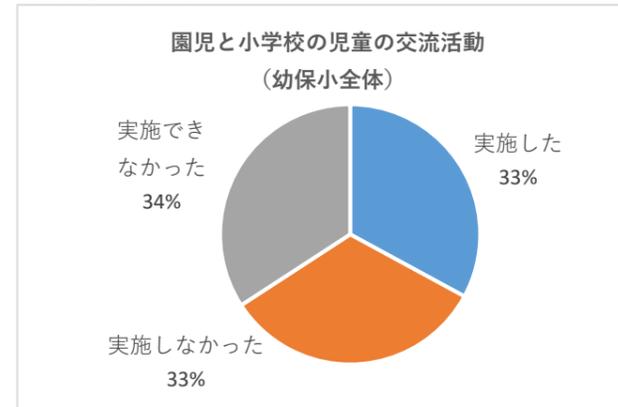
- 【項目】
- 園児と小学校の児童に係る交流活動の取組について
  - 幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携について
  - 指導計画、スタートカリキュラムの編成、実施について
  - 幼保小連携に係る取組全般について
  - ねりま接続期プログラムについて

【回収状況】

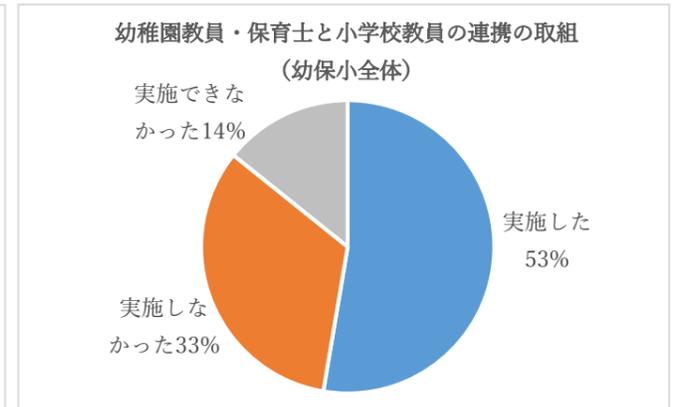
	全体数	回収数	回収率
私立幼稚園	38	32	84%
私立保育所	131	110	84%
認証保育所	17	11	65%
区立幼稚園	3	3	100%
区立保育所	60	60	100%
区立小学校	65	65	100%

回答(抜粋)

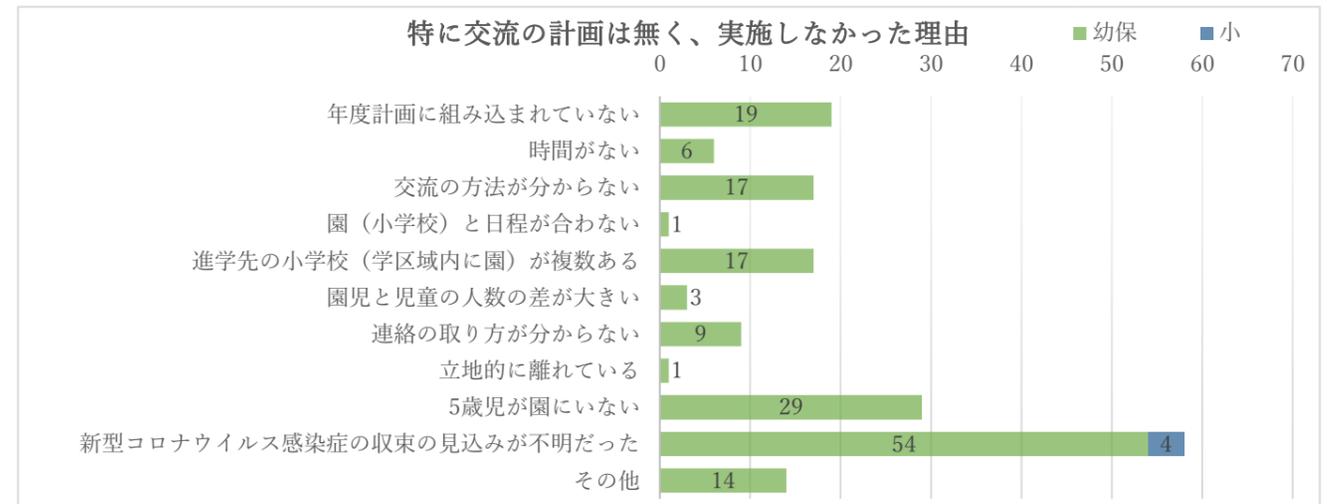
【問1-1】  
令和3年度中に園児と小学校の児童の交流活動を実施しましたか。



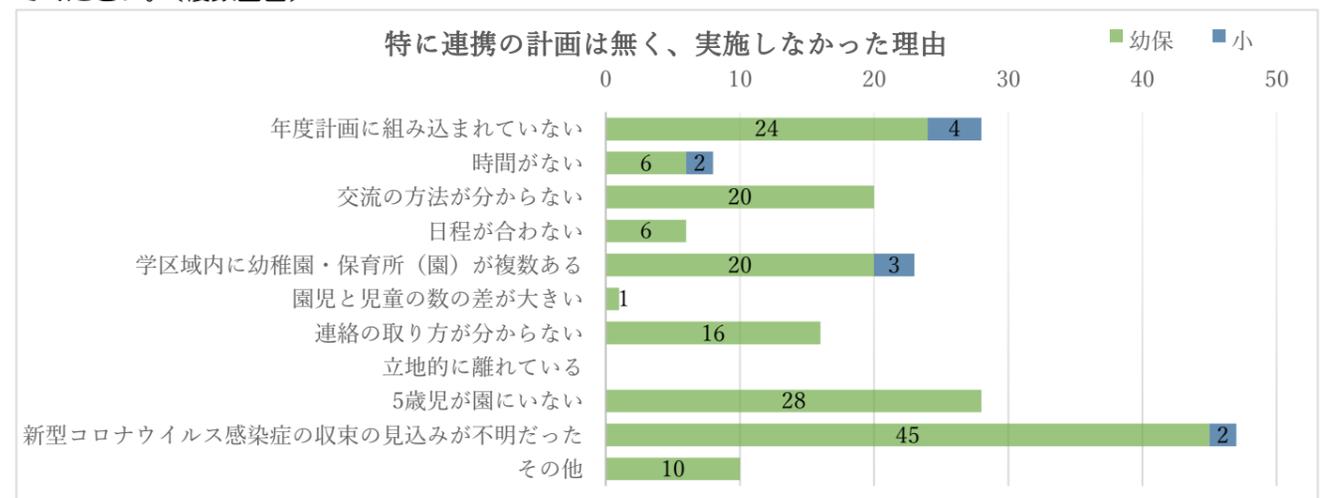
【問2-1】  
令和3年度中に幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携の取組を実施しましたか。



【問1-3】  
(交流活動を実施しなかった施設) 令和3年度中に実施しなかった理由を教えてください。(複数回答)

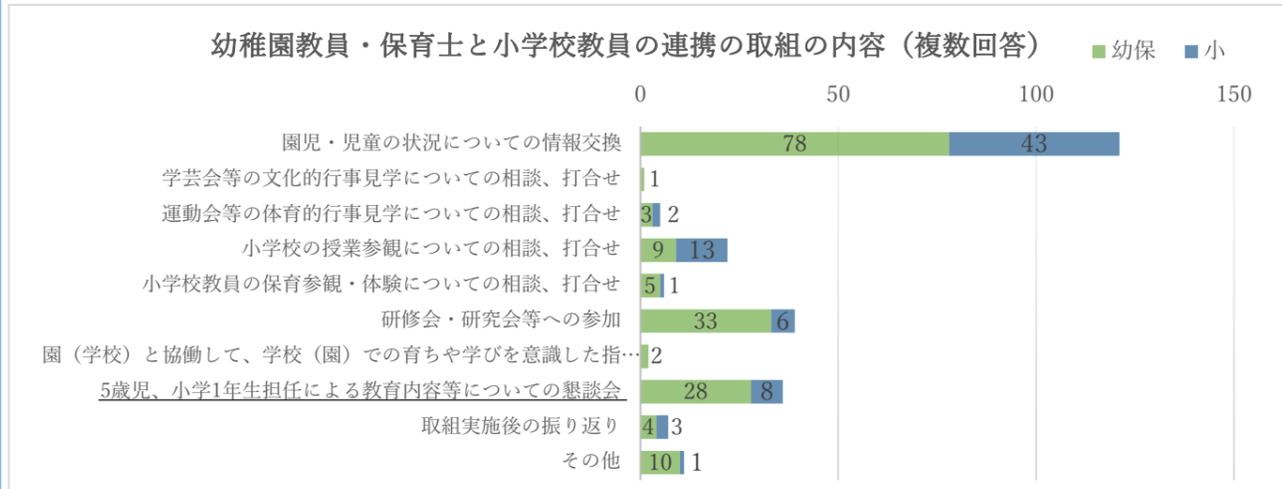


【問2-3】  
(幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携の計画は無く、実施しなかった施設) 取組を実施しなかった要因を挙げてください。(複数回答)



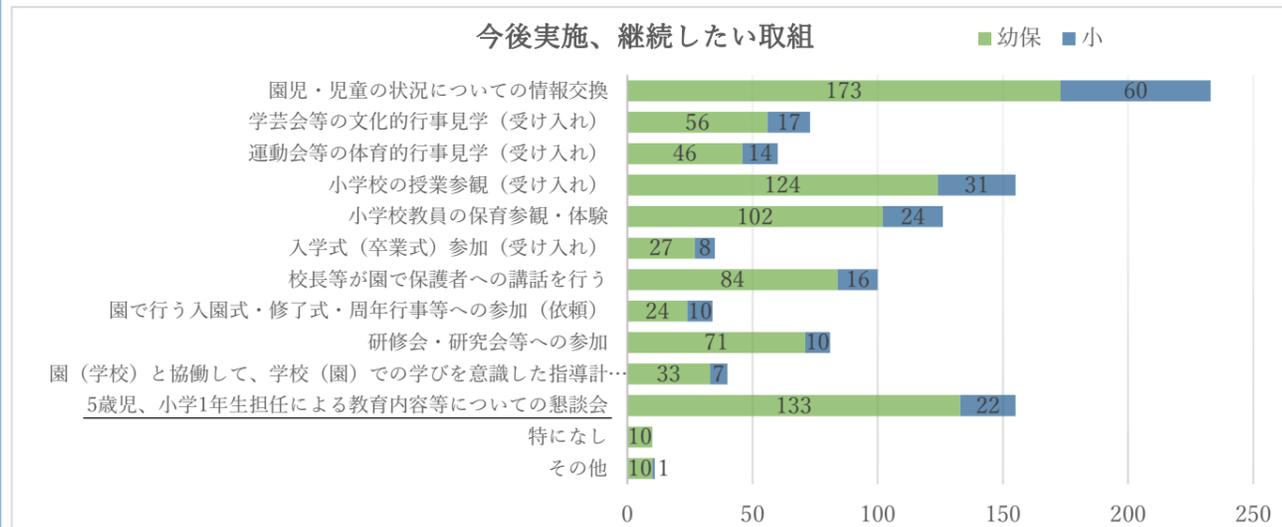
【設問 2-2】

(幼稚園教員・保育士と小学校教員の連携の実施した施設) 下記の取組例の中で、令和3年度中に実施した取組を教えてください。(複数回答)



【問 2-4】

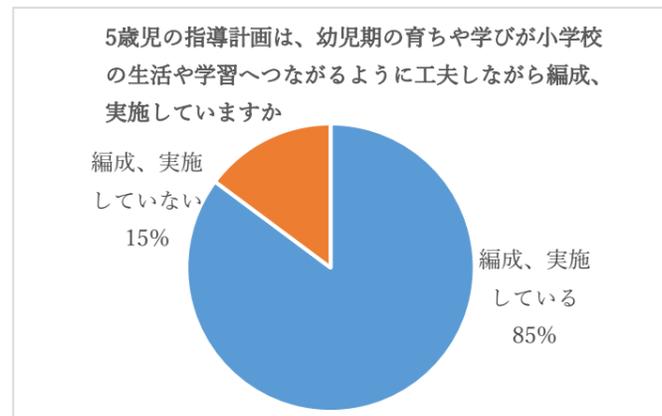
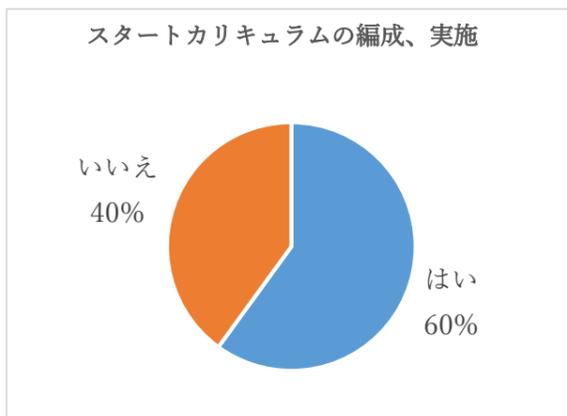
今後実施、継続したい取組はありますか。(複数回答)



【問 3-1】

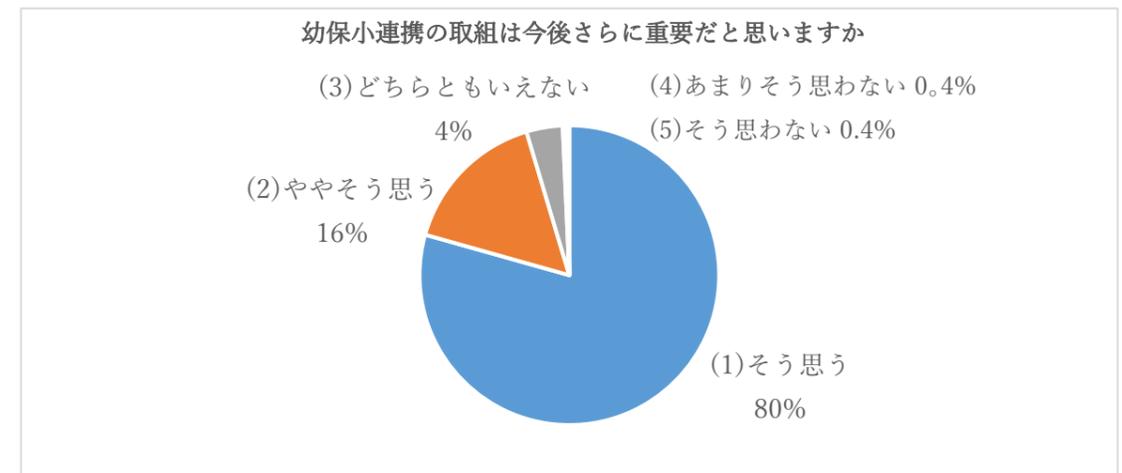
(小学校) スタートカリキュラムを編成、実施していますか。

(幼保) 5歳児の指導計画は、幼児期の育ちや学びが小学校の生活や学習へつながるように工夫しながら編成、実施していますか。



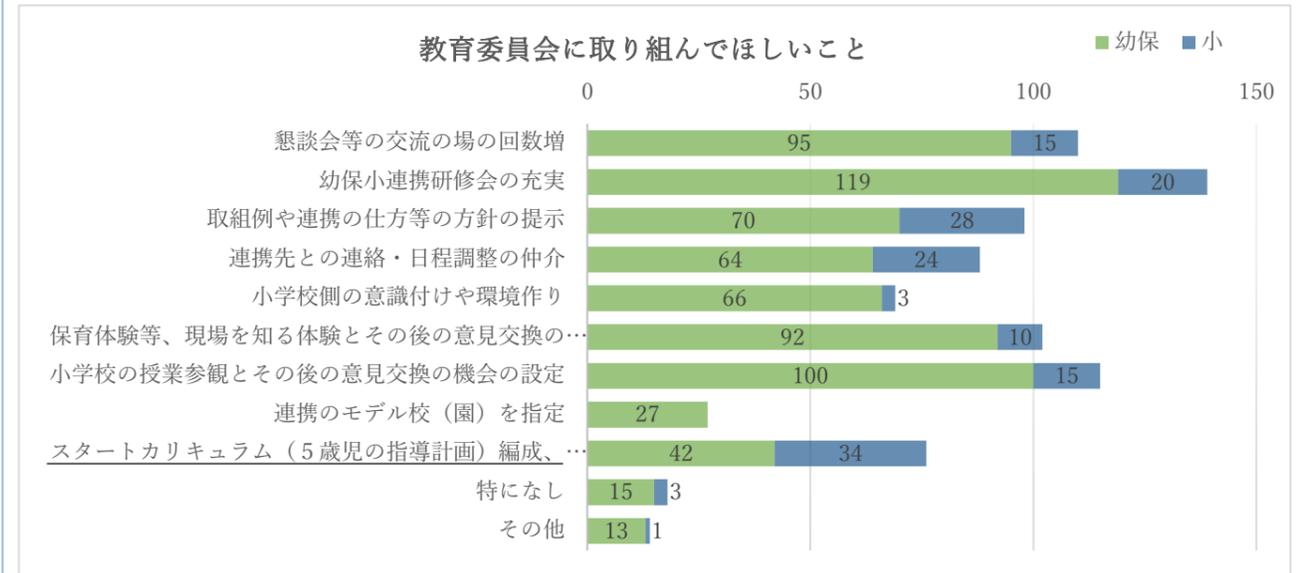
【問 4-1】

新型コロナウイルス感染症の流行により、幼保小連携の取組は行いづらい状況が続いていますが、幼保小連携の取組は今後さらに重要だと思いますか。



【問 4-2】

幼保小連携に係る取組全般について、円滑に実施するために教育委員会に取り組みしてほしいことはありますか。(複数回答)



分析結果

- 幼稚園、保育所は、懇談会や小学校の授業参観が新型コロナウイルス感染症の拡大によって、実施できなかった園が多く、園児・児童の状況についての情報交換に加えて、懇談会や授業参観を行いたいと考えている。
- 小学校は、継続して園児の状況についての情報交換を行いたいと考えている。
- 今後実施したい取組として5歳児、小学1年生担任による教育内容等についての懇談会の開催が多く挙がっている。
- 小学校へのつながりを意識した5歳児の指導計画を編成、実施している園は全体の85%である。幼保小連携に係る取組全般について、円滑に実施するために教育委員会に取り組みしてほしいことは、研修会の充実や小学校との交流の場を必要としている。
- スタートカリキュラムを編成・実施している小学校は約60%である。スタートカリキュラム編成や取組事例紹介、支援を全体の半分以上の小学校が必要としている。